



PRESS RELEASE (2013/10/23)

第14回「九州大学・北海道大学 合同フロンティア・セミナー」の開催について —社会と生きる数学—

概要

平成25年11月21日(木) 18時30分から、東京ステーションコンファレンスにおいて、第14回「九州大学・北海道大学 合同フロンティア・セミナー」を開催します。

本セミナーは、現在、本学及び北海道大学がどのような研究を進めているのか等について広く産業界、社会人、両大学の同窓生の皆様にご覧いただき、各分野の方々との連携・交流を一層深めることを目的としているものです。

背景

九州大学は、その活動状況を社会へ発信する手段として、北海道大学との合同による活動報告会とフロンティア・セミナーを東京で開催しています。

今回、第14回「九州大学・北海道大学 合同フロンティア・セミナー」を「社会と生きる数学」をテーマに次の内容で開催します。

内容

- ・日時：平成25年11月21日(木) 18:30～20:45
- ・場所：東京ステーションコンファレンス (JR東京駅、東京メトロ東西線大手町駅)
東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー6階
- ・テーマ：「社会と生きる数学」

講演

若山 正人 九州大学 副学長 (マス・フォア・インダストリ研究所長)

《演題：数学は未来のキーテクノロジーとなりうるか》

たとえば2007年のOECDのレポート“Mathematics in Industry”における報告と提言、それに引き続き2008年のアクションプランからも、数学が未来の科学・技術、そして産業に不可欠であり、そのキーテクノロジーを牽引することが期待されていることがわかる。実際この動きは、国際的にも活発化しているところである。本講演では、九州大学を中心とした、産業界との連携・共同研究の具体例および未来を支える若手研究者育成について紹介する。

津田 一郎 北海道大学電子科学研究所・教授 (数学連携研究センター長)

《演題：社会を変える数学》

人類の歴史を眺めてみると社会の変革の背景には数学によるさまざまな発明、発見があったことがわかる。数学という学問の役割は人類が知りうる世界、すなわち知恵の可能世界を抽出することにとどまらず、社会の構造を変革することで人類の可能性を拡大していくことでもあるのではないかと。本講演は具体例をあげながら後者の可能性を探る試みを紹介する。

パネルディスカッション

テーマ：「社会と生きる数学」

コーディネーター：安生 健一 株式会社オー・エル・エム・デジタル R&D スーパーバイザー

パネリスト：若山 正人 九州大学 副学長 (マス・フォア・インダストリ研究所長)

津田 一郎 北海道大学電子科学研究所・教授 (数学連携研究センター長)

<参加費用>

1,000円：軽食付き

■効 果

合同フロンティア・セミナーにおいて、南北の知の拠点である九州大学と北海道大学における先駆的な取組と活動状況を広く社会に向け積極的かつ継続的に発信します。このことにより、産業界、社会人、両大学の同窓生の皆様方との連携・交流が一層深まることが期待されます。

また、両大学が交流を深め、互いに切磋琢磨しながら連携協力を行うことにより、今後の両大学の更なる発展・飛躍につながっていくことが期待されます。

■今後の展開

本セミナー開催後も、九州大学と北海道大学との合同により、以下のイベントを企画しておりますので、多くの皆様のご参加を賜りますようお願いいたします。

○第9回 北海道大学・九州大学 合同活動報告会

日 時：平成26年2月1日（土）

場 所：都市センターホテル（東京都千代田区平河町2-4-1）

【お問い合わせ】

九州大学企画部学術研究推進課 西村 大

電話：092-642-7368・2693

FAX：092-642-7090

Mail：kisgodo@jimu.kyushu-u.ac.jp

北海道大学研究推進部研究振興企画課 高橋 寛子

電話：011-706-2155・2166

FAX：011-706-4873

Mail：suishin@general.hokudai.ac.jp